

● その他の便利な機能

アラーム機能を使う (アラーム機能) (機能番号52)	252
アラーム設定を登録/編集する	252
アラーム設定を一時停止/削除する	254
アラームを止める	254
連続アラームを解除する	254
カレンダーを表示する	255
メモ帳を使う	255
メモを新規登録する	255
メモ帳入力画面のメニューを使う	256
詳細を表示する	257
メモを編集する	257
メモをコピーする	257
メモを削除する	257
1件削除する	257
全件削除する	258
ダイヤルメモを使う (ダイヤルメモ)	258
ダイヤルメモを登録する	258
ダイヤルメモを呼び出して使う (機能番号16)	258
待受中に音声を録音する (Myボイス録音)	259
パケット通信中の電話の着信を設定する (通信中着信) (機能番号17)	259
プロフィールを確認/登録する (プロフィール)	259
プロフィールを確認する (機能番号0)	259
プロフィールの詳細を登録する	260
登録したプロフィールの詳細を確認する	260
プロフィール詳細表示画面から操作する	261
プロフィール詳細表示画面のメニューを使う	261
通話時間を表示する	262
通話時間の合計を表示する (累積通話時間) (機能番号11)	262
通話中に通話時間を表示させる (通話時間目安表示) (機能番号12)	262
WX300Kをオープンしたときの動作を設定する (フォルダオープン) (機能番号66)	262
上下キーに機能を設定する (上下キー割り当て) (機能番号65)	263
サイドキーの操作を無効にする (サイドキー操作無効)	263
サイドキー操作無効を解除する	263
電卓を使う (電卓)	264
イヤホンマイクを接続する (イヤホン自動応答) (機能番号61)	264
現在の位置情報を通知する	265
LI機能を設定する (LI設定) (機能番号62)	265
自動位置情報送出手を設定する (機能番号621)	266
位置情報が通知されたときの着信音を設定する (機能番号622)	266
通知許可番号と通知許可パスワードを登録する (機能番号623)	266
通知許可番号と通知許可パスワードを編集/削除する	267
位置情報を通知する	267
相手から位置情報送出手の要求があったとき	267
所在位置を登録する	267
所在位置のみ登録する	267
所在位置とステータスコードを登録する	268
国際ローミングを利用する (お申し込み必要) (国際ローミング) (機能番号64)	268
ローミングモードに切り替える (機能番号641)	268
ローミングモードで電話をかける	269
ローミングモードで電話を受ける	269
国際プリフィックス番号を簡単に付ける	269
ローミング情報を登録する (機能番号642)	269
ローミング情報をリセットする	270

● アラーム機能を使う（アラーム機能）

機能番号52

設定した日付と時刻にアラーム音を鳴らしたり、目覚し時計などとして使うことができます。メッセージや画像を表示させることもできます。アラームは20件まで登録できます。

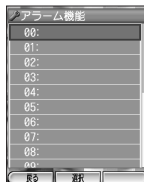
お買い上げ時：
「未登録」

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

アラーム一覧画面

- 1 ● [メニュー] ▶ 「機能」を選択し、● [選択] ▶ 5 日 ▶ 2 か ▶ 登録／編集したいアラーム番号を選択し、● [選択]



以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

1. アラーム時刻	1. 日付指定 (年月日)	▶ 年月日を入力し、● [確定] 指定の日時にアラームを鳴らします。 年月日は西暦(4桁)、月(2桁)、日(2桁)、時刻(24時制)を入力します。
	2. 毎日	▶ 時刻を入力し、● [確定] 毎日、指定した時刻にアラームを鳴らします。 時刻は24時制で入力します。
	3. 平日(月～金)	▶ 時刻を入力し、● [確定] 平日(月～金)の指定した時刻にアラームを鳴らします。 時刻は24時制で入力します。
	4. 週末(土、日)	▶ 時刻を入力し、● [確定] 週末(土日)の指定した時刻にアラームを鳴らします。 時刻は24時制で入力します。
	5. 曜日指定	▶ ● (F2) [ON/OFF] で曜日を指定／解除 ▶ ● [確定] ▶ 時刻を入力し、● [確定] 指定した曜日／時刻にアラームを鳴らします。
2. アラーム音 お買い上げ時： 「固定パターン」／ 「アラーム音」	1. 固定パターン	▶ パターンを選択し、● [選択] あらかじめ用意されている7種類のパターンから選択します(「着信音のパターン／メロディを選択する」223ページ)。
	2. メロディ	▶ メロディを選択し、● [選択] あらかじめ用意されている10種類のメロディから選択します(「着信音のパターン／メロディを選択する」223ページ)。
	3. データフォルダ	▶ データフォルダからアラーム音を選択し、● [選択] ダウンロードしたメロディを、データフォルダから選択します(「データフォルダの使いかた」213ページ)。
3. 連続アラーム お買い上げ時： 「OFF」	▶ 「ON」または「OFF」を選択し、● [選択] 5分ごとに5回アラームを鳴らします。	

<p>④.⑤ アラーム鳴動時間</p> <p>お買い上げ時： 「1分」</p>	<p>▶ 鳴動時間を選択し、 【選択】</p> <p>アラームを鳴らす長さを選択します。「1分」～「5分」まで、分単位で設定します。</p>							
<p>⑤.⑥ アラームメッセージ</p>	<p>▶ メッセージを入力し、 【登録】</p> <p>アラーム動作時、メインディスプレイに表示するメッセージを入力します。入力できる文字数は全角、半角共に32文字までです。</p>							
<p>⑥.⑦ アラーム画像</p> <p>お買い上げ時： 「表示なし」</p>	<p>アラーム動作時に表示する画像を選択します。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="327 295 498 368"> <p>①.⑧ 固定画像</p> </td> <td data-bbox="498 295 946 368"> <p>▶ ①.⑧～④.⑤ (固定画像を選択)</p> <p>あらかじめ用意されている4種類の画像から選択します。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 368 498 455"> <p>②.⑨ データフォルダ</p> </td> <td data-bbox="498 368 946 455"> <p>▶ 画像を選択し、 【選択】</p> <p>ダウンロードした画像を、データフォルダから選択します(「データフォルダの使いかた」213ページ)。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 455 498 483"> <p>③.⑩ 表示なし</p> </td> <td data-bbox="498 455 946 483"> <p>アラーム起動中に画像を表示しません。</p> </td> </tr> </table>	<p>①.⑧ 固定画像</p>	<p>▶ ①.⑧～④.⑤ (固定画像を選択)</p> <p>あらかじめ用意されている4種類の画像から選択します。</p>	<p>②.⑨ データフォルダ</p>	<p>▶ 画像を選択し、 【選択】</p> <p>ダウンロードした画像を、データフォルダから選択します(「データフォルダの使いかた」213ページ)。</p>	<p>③.⑩ 表示なし</p>	<p>アラーム起動中に画像を表示しません。</p>
<p>①.⑧ 固定画像</p>	<p>▶ ①.⑧～④.⑤ (固定画像を選択)</p> <p>あらかじめ用意されている4種類の画像から選択します。</p>							
<p>②.⑨ データフォルダ</p>	<p>▶ 画像を選択し、 【選択】</p> <p>ダウンロードした画像を、データフォルダから選択します(「データフォルダの使いかた」213ページ)。</p>							
<p>③.⑩ 表示なし</p>	<p>アラーム起動中に画像を表示しません。</p>							

2 (F2) [登録] を押す

ご注意

- 電源を切っていると、アラームは鳴りませんが、アラームを設定した時間は保存されていますので、電源を入れたときに、過去に設定されたアラームがすべて鳴ります。

お知らせ




- アラーム音やアラーム画像を選択した後、 (F2) 【再生】を押すと、選択した音や画像を再生することができます。
アラーム画像再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ (F1) 【戻る】：再生を終了します。
 - アラーム音再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ (F2) 【停止】：再生を終了します。
- アラームを設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- アラーム機能を登録/編集するには、以下の手順でも行えます。
待受画面で 【メニュー】▶「アクセサリ」を選択し、 【選択】▶「アラーム機能」を選択し、 【選択】▶登録/編集したいアラーム番号を選択し、 【選択】
- 以下の状態ではアラームが鳴動しません。
 - ・音声通話中/データ通信中
 - ・発信中
 - ・着信中
 - ・留守応答中
 - ・録音/再生中
 - ・アラーム画面
 - ・時計設定画面
 - ・リセット画面/リセット中
 - ・ユーティリティソフト動作中
 - ・Opera起動中
 - ・カメラのセルフタイマ動作中
- アラーム音量の設定は、「アラーム音を設定する」(226ページ)をご参照ください。

アラーム設定を一時停止／削除する

アラーム一覧画面で

一時停止／削除したいアラーム設定を選択 ▶  (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。

一時停止	▶ 「はい」を選択し、  【OK】 選択したアラーム設定を一時停止します。
1件削除	▶ 「はい」を選択し、  【OK】 選択したアラーム設定を削除します。
全件削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、  【OK】 登録されているアラーム設定をすべて削除します。

お知らせ

● 一時停止したアラームを再開するには、以下の手順で行います。

アラーム一覧画面で再開したいアラーム設定を選択 ▶  (F2) [メニュー] ▶ 「再開」を選択し、 【選択】 ▶ 「はい」を選択し、 【OK】

アラームを止める

アラームが鳴っているときに

いずれかのキーを押す

ご注意



● アラーム動作中に着信／メール受信があると、アラーム動作を停止します。

お知らせ

● 連続アラームが設定されている場合は、アラーム動作中に待受画面の「」が点滅します。

連続アラームを解除する

待受画面で

 [メニュー] ▶ 

● カレンダーを表示する

待受画面で

- [メニュー] ▶ [アクセサリ] を選択し、● [選択] ▶ [カレンダー] を選択し、● [選択]

当月のカレンダーが表示されます。

お知らせ

- カレンダー画面表示中は、以下の操作を行うことができます。

● または ●	前の月を表示します。
● または ●	次の月を表示します。
▲ (PAGE)	前の年を表示します。
▼ (PAGE)	次の年を表示します。
○ (F2) 【今日】	当月を表示します。
○ (F1) 【戻る】	カレンダー画面を終了します。

- カレンダーにスケジュールの祝日や休日を登録することはできません。
- 表示できる月は、2000年1月～2099年12月までです。

● メモ帳を使う

WX300Kをメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は20件まで登録できます。

メモを新規登録する

待受画面で

- [メニュー] ▶ [アクセサリ] を選択し、● [選択] ▶ [メモ帳] を選択し、● [選択] ▶ 登録するメモ帳を選択し、● [編集] ▶ メモを入力し、● [登録]

お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角、半角共に512文字までです。
- メモ入力中に着信などによって登録が中断された場合は、中断されるまでの入力内容が登録されます。
- メモ入力中に [キャンセル] を押すと、作成中データの破棄の確認画面が表示され、「はい」を選択し、● [OK] を押すと、作成中データは保存されずに待受画面に戻ります。
- メモ帳はテキストデータとしてエクスポートできません。

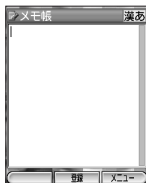
カレンダー画面



メモ帳一覧画面



メモ帳入力画面

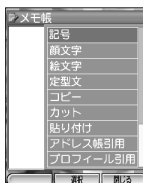


■ メモ帳入力画面のメニューを使う

メモ帳入力画面で

メモ帳入力画面の
メニュー

◎ (F2) [メニュー] を押す



以下の項目から選択します。

記号	▶ 「半角記号」または「全角記号」を選択し、◎【選択】▶ 記号を選択し、◎【確定】 記号をメモ帳に貼り付けます。
顔文字	▶ 顔文字を選択し、◎【選択】 顔文字をメモ帳に貼り付けます。
絵文字	▶ 絵文字を選択し、◎【確定】 絵文字をメモ帳に貼り付けます。
定型文	▶ 定型文を選択し、◎【選択】 定型文をメモ帳に貼り付けます。
コピー	▶ ⓧでコピーしたい範囲の始点を選択し、◎【始点】▶ 終点を選択し、◎【終点】 文字をコピーします。
カット	▶ ⓧでカットしたい範囲の始点を選択し、◎【始点】▶ 終点を選択し、◎【終点】 文字をカットします。
貼り付け	コピー／カットした文字をメモ帳に貼り付けます。
アドレス帳引用	▶ 名前を選択し、◎【OK】▶ 引用したい項目を選択し、◎【選択】 アドレス帳の電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して入力します。
プロフィール引用	▶ 引用したい項目を選択し、◎【選択】 自分のプロフィールを呼び出して入力します。
ブックマーク引用	▶ ブックマークを選択し、◎【確定】 ブックマークに登録されているURLを呼び出して入力します。
メモ帳引用	▶ メモ帳を選択し、◎【選択】 登録済みのメモ帳から引用します。
コード入力	▶ コードを入力し、◎【OK】 読みのわからない文字を、漢字コードを使って入力します。
編集中止	▶ 「はい」を選択し、◎【OK】 編集を中止します。

詳細を表示する

メモ帳一覧画面で

表示させたいメモ帳を選択し、【表示】

メモ詳細画面



メモを編集する

メモ帳一覧画面で

編集したいメモ帳を選択 ▶  (F2) 【メニュー】 ▶ 「編集」を選択し、【選択】▶メモを編集し、【登録】



●メモ詳細表示画面からの編集は、以下の手順で行います。

メモ詳細表示画面で (F2) 【メニュー】 ▶ 「編集」を選択し、【選択】▶メモを編集し、【登録】

メモをコピーする



メモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。

メモ帳一覧画面で


コピーしたいメモ帳を選択 ▶  (F2) 【メニュー】 ▶ 「コピー」を選択し、【選択】▶コピー先を選択し、【OK】



●メモ詳細表示画面からのコピーは、以下の手順で行います。

メモ詳細表示画面で (F2) 【メニュー】 ▶ 「コピー」を選択し、【選択】▶コピー先を選択し、

【OK】

●コピー先に、すでに登録されているメモ帳の場合は、「メモ帳△△は登録済みです」と表示されます。すでにあるメモを置き換えて登録するには、「メモ帳△△を置き換えますか？」の画面で「はい」を選択して【OK】を押します。

メモを削除する

メモを削除します。全件削除を行うときは暗証番号の入力が必要です。



1件削除する

メモ帳一覧画面で

削除したいメモ帳を選択 ▶  (F2) 【メニュー】 ▶ 「1件削除」を選択し、【選択】▶「はい」を選択し、【選択】



●メモ詳細表示画面からの削除は、以下の手順で行います。

メモ詳細表示画面で (F2) 【メニュー】 ▶ 「1件削除」を選択し、【選択】▶「はい」を選択し、

【選択】

■ 全件削除する

メモ帳一覧画面で

○ (F2) [メニュー] ▶ [全件削除] を選択し、● [選択] ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、● [選択]

● ダイアルメモを使う (ダイアルメモ)

電話番号などを書き留めておきたい場合に、WX300Kをメモ帳代わりに使うことができます。

ダイアルメモを登録する

待受画面/通話中に

番号を入力し、● [ダイアルメモ]



- 入力できる電話番号は32桁までです。
- ダイアルメモは3件まで登録できます。すでに3件登録されている場合、古いダイアルメモから自動的に削除されます。

ダイアルメモを呼び出して使う

機能番号16

待受画面で

1 ● [メニュー] ▶ 「機能」を選択し、● [選択] ▶ 1 ▶ 6

ダイアルメモ画面には、最後に登録したダイアルメモが表示されます。

2 ダイアルメモを選択 ▶ ○ (F2) [メニュー]



以下の項目から選択します。

発信	選択したダイアルメモの電話番号に電話をかけます。
184発信	選択したダイアルメモの電話番号に184発信 (自分の電話番号を通知しない) します。
186発信	選択したダイアルメモの電話番号に186発信 (自分の電話番号を通知する) します。
分計発信	選択したダイアルメモの電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます (「料金分計サービスについて」280ページ)。
184分計発信	選択したダイアルメモの電話番号に、184発信 (自分の電話番号を通知しない) と料金分計サービスを利用して電話をかけます (「料金分計サービスについて」280ページ)。
186分計発信	選択したダイアルメモの電話番号に、186発信 (自分の電話番号を通知する) と料金分計サービスを利用して電話をかけます (「料金分計サービスについて」280ページ)。
アドレス帳へ登録	選択したダイアルメモをアドレス帳に登録します (「アドレス帳に登録する」120ページ)。
ライトメール作成	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します (「ライトメールを作成して送信する」148ページ)。
1件削除	▶ 「はい」を選択し、● [選択] 選択したダイアルメモを削除します。
全件削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、● [選択] 登録されているダイアルメモをすべて削除します。

● 待受中に音声を録音する（Myボイス録音）

待受中にマイクから音声を録音し、データフォルダに保存します。最大約10秒間、3件まで録音できます。

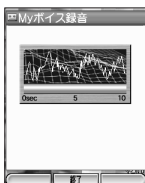
待受画面で

〔サイドキー〕▶〔2秒〕〔Myボイス録音〕▶〔開始〕で録音開始▶約10秒経過後または〔終了〕で録音終了

お知らせ

- 3件以上録音しようとする時、エラーメッセージが表示されます。不要な録音を削除してください。
- 録音終了後、○（F2）【再生】を押すと、録音した音声データを再生することができます。●【終了】を押すと再生を終了します。
- 録音した音声データは、データフォルダから再生することができます。Eメールに添付したり、他の機能（着音など）に登録することはできません。
- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください。
- 録音したMyボイスのファイル名は、以下の形式で保存されます。
例：2005年5月1日12時34分56秒に録音して保存した場合
「20050501_123456_001.kvc」

Myボイス録音中画面



● パケット通信中の電話の着信を設定する（通信中着信）

機能番号17

パケット通信中（インターネット／データ通信／Eメール）に電話がかかってくる時、着信を許可するか禁止するかを設定します。

待受画面で

〔メニュー〕▶〔機能〕を選択し、〔選択〕▶〔1秒〕▶〔7秒〕

以下の項目から選択します。

起動	パケット通信中（インターネット／データ通信／Eメール）でも、電話の着信ができます。ただし、通信環境によっては着信できない場合があります。
停止	パケット通信中（インターネット／データ通信／Eメール）は、電話の着信ができません。

ご注意

- 「通信中着信」が可能なのは、パケット通信中のみです。

● プロフィールを確認／登録する（プロフィール）

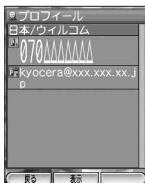
プロフィールを確認する

機能番号0

ご使用になっているWX300Kの電話番号を確認します。

待受画面で

〔メニュー〕▶〔0〕



● パケット通信中の電話の着信を設定する（通信中着信）
● 待受中に音声を録音する（Myボイス録音）
● プロフィールを確認／登録する（プロフィール）

プロフィールの詳細を登録する

自分のプロフィールを登録します。

待受画面で

1 [メニュー] ▶ 0.3 ▶ [表示] ▶ (F2) [メニュー] ▶ 『編集』を選択し、 [選択]

以下の項目から選択します。

項目	詳細
名前	自分の名前を入力します。名前に入力できる文字数は全角、半角共に24文字までです。
ヨミ	自分の読みを入力します。読みに入力できる文字数は半角カナ英数字、記号で24文字までです。
電話番号	電話番号を入力します。入力できる電話番号は32桁までです。
(電話番号種別)	電話番号種別を選択します。
Eメールアドレス	Eメールアドレスを入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。
(Eメールアドレス種別)	Eメールアドレス種別を選択します。
住所	住所を入力します。入力できる文字数は全角、半角共に40文字までです。
(住所種別)	住所の種別を選択します。
URL	URLを入力します。入力できる文字数は半角英数字、記号で255文字までです。
(血液型)	血液型を選択します。
(星座)	星座を選択します。13星座から選択することもできます。
(誕生日)	誕生日を入力します。
趣味	趣味を入力します。入力できる文字数は全角、半角共に10文字までです。
メモ	メモを入力します。入力できる文字数は全角、半角共に80文字までです。
(画像)	データフォルダ内の画像データをリンクします。

・各項目の入力方法は、「アドレス帳に登録する」(120ページ)をご参照ください。

2 各項目を入力し、 (F1) [登録]

お知らせ

- 「電話番号1」には、自電話番号がすでに登録されています。変更することはできません。
- 「メールアドレス3」は、オンラインサインアップで取得した自分のEメールアドレスが自動的に登録されます。変更することはできません。

登録したプロフィールの詳細を確認する

待受画面で

[メニュー] ▶ 0.3 ▶ [表示]

ご注意

- 「Eメールアドレス3」は、オンラインサインアップ(138ページ)を行っていない場合、表示されません。

お知らせ












- 登録していない項目は、表示されません。

プロフィール詳細
表示画面



■プロフィール詳細表示画面から操作する

プロフィールの詳細表示画面で、以下の項目を選択すると、各操作を行うことができます。


項目	操作内容
 電話番号2  電話番号3	▶  【発信】 を押す 選択した電話番号に電話をかけます。
 メールアドレス1  メールアドレス2  メールアドレス3	▶  【Eメール作成】 を押す 選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」142ページ）。
 URL	▶  【接続】 を押す Webページにアクセスします（「インターネットの使いかた」177ページ）。
 （画像）	▶  【再生】 を押す 選択している画像データを表示します。

■プロフィール詳細表示画面のメニューを使う

プロフィール詳細表示画面で

○ (F2) [メニュー] を押す

以下の項目から選択します。

項目	操作内容
発信*1	選択した電話番号に電話をかけます。
184発信*1	選択した電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。
186発信*1	選択した電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。
分計発信*1	選択した電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
184分計発信*1	選択したダイヤルメモの電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
186分計発信*1	選択したダイヤルメモの電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
ライトメール作成*1	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」148ページ）。
Eメール作成*2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」142ページ）。
URLページ接続*3	Operaブラウザを起動し、選択したURLに接続します（「URLに接続する」135ページ）。
Eメール添付	プロフィールを添付データとしたEメールを作成します。 添付されたプロフィールデータのタイトル名はプロフィールの「名前」、データ名は「名前.vcf」となります。なお、プロフィールデータは、データフォルダに保存されません。プロフィールの名前にファイル名として使用できない文字<>：¥ * / ? * が含まれているときは、タイトル名に「notitle.vcf」と表示されます。
編集	プロフィールの情報を編集します。
リセット	▶ 「はい」を選択し、  【OK】 追加したプロフィール情報（電話番号1とEメールアドレス3以外）をリセットします。

*1：電話番号（電話番号1以外）を選択しているときのみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択しているときのみ表示されます。


*3：URLを選択しているときのみ表示されます。



●国際ローミングを契約している場合、電話番号1には、ローミングモードが「日本/ウィルコム」のときは自電話番号が、それ以外のときはローミング用番号が表示されます。

● 上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て）

機能番号65



待受中にフロントジョグで行うことのできる操作を設定します。

お買い上げ時：
「名前順」

待受画面で

 【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、 【選択】 ▶  6.は ▶  5.な


以下の項目から選択します。

機能名	フロントジョグ操作 	
名前順	アドレス帳の名前検索 	
アドレス帳No.順	アドレス帳のNo.検索（メモリ番号検索）	
グループ順	アドレス帳のグループ検索	
ライトメール	新規メール作成	受信メール一覧
Eメール	新規メール作成	
受話音量	受話音量を大きく	受話音量を小さく

 ● ご注意

- ここで設定したフロントジョグ操作は、待受中のみ行うことができます。それ以外の状態では、通話中は受話音量調節、着信中は着信音量調節などの操作になります。

● サイドキーの操作を無効にする（サイドキー操作無効）


クローズ時のサイドキーを操作無効にします。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

 を長く（約1秒以上）押す

 お知らせ

- サイドキー操作無効を設定すると、サブディスプレイ画面に「」が表示されます。
- サイドキー操作無効の設定は、WX300Kがクローズ状態でのみ有効です。WX300Kをオープン状態にすると、サイドキー操作が有効となります。

サイドキー操作無効を解除する

待受画面で

サイドキー操作無効が設定されている状態で、 を長く（約1秒以上）押す

● 上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て）
● サイドキーの操作を無効にする（サイドキー操作無効）

● 電卓を使う（電卓）

電卓として使用します。電卓はメインディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

- 1 ● [メニュー] ▶ [アクセサリ] を選択し、● [選択] ▶ 「電卓」を選択し、● [選択]



2 ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

⌘	小数点を入力します。	#%	%（パーセント表示）
+	+（たす）	M+	M+（メモリに加算）
-	-（ひく）	MR	MR（メモリの値を表示）
×	×（かける）	C	短く押す：C（表示している数字のクリア）
÷	÷（わる）		長く押す（約1秒以上押す）：AC（オールクリア）
=	=（計算結果表示）		

お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき(22)を押すとエラーが解除されます。

● イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）

機能番号61

イヤホンマイク（市販品）を接続しているときに、手で操作しなくても設定した時間（応答時間）が経過すると、自動的に電話を受け取ることができます。

お買い上げ時：「9秒」

待受画面で

- [メニュー] ▶ 「機能」を選択し、● [選択] ▶ 6.1 ▶ 1 ▶ 応答時間を選択し、● [選択]

ご注意

- 伝言メモ（97ページ）が同時に設定されているときは、設定時間の短いほうが優先されます。
- イヤホンマイクのスイッチは使用できません。WX300Kから操作を行ってください。
- イヤホンマイクは3極のもののみ使用できます（4極は使用不可）。また、スイッチ付きイヤホンマイクは、スイッチ部のご使用はできません。

お知らせ

- 応答時間は「OFF」、「0秒」～「30秒」（1秒単位）の範囲で設定できます。
- イヤホンマイクを接続しても、着信音はイヤホンマイクからは聞こえません。着信音はWX300Kからのみ聞こえます。
- イヤホンマイクの使いかたについては、イヤホンマイク（市販品）の取扱説明書をご参照ください。

● 現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報を利用した位置情報サービスが情報提供会社から提供されています。

- ・LI (Location Information／位置情報通知) 機能：WX300Kが認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。この機能によって、自分がいる位置またはその周辺の情報などを知ることができます。
- ・自動位置情報送出：LI機能を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。WX300Kに通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の送出を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

LI機能を設定する (LI設定)

機能番号62

LI機能を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができます。遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のために設定することができます。

自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。

- ・自動位置情報送出
- ・位置情報を通知する電話番号 (通知許可番号) の登録／修正／消去
- ・位置情報送出時の送出確認音の設定

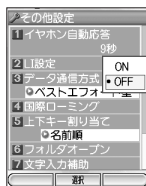
お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

1 ● 【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、● 【選択】 ▶ 6.は ● 2.か ▶

「ON」を選択し、● 【選択】

現在の自動位置情報送出の設定状況が表示されます。



2 ● 【設定】 ▶ 暗証番号を入力

以下の項目から選択します。

① 自動位置情報送出機能	通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします (「自動位置情報送出を設定する」266ページ)。あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。
② 着信音設定	自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします (「位置情報が通知されたときの着信音を設定する」266ページ)。
③ 通知許可番号	位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします (「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」266ページ)。

自動位置情報
送出設定画面



● ご注意

- 位置情報サービスを利用するには、ウィルコムへの加入のほか位置情報サービス提供会社などへのお申し込みが必要になります (有料)。

■ 自動位置情報送出手を設定する

機能番号621

通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出手が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかが設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

自動位置情報送出手設定画面で

1 「自動位置情報送出手機能」 ▶ 「ON」を選択し、 【選択】

お知らせ

- 自動位置情報送出手機能を利用するときは、L1機能を「ON」に設定し（「L1機能を設定する」265ページ）、有効な通知許可番号が登録されている必要があります（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」同ページ参照）。

お知らせ

- 自動位置情報送出手で位置情報を送る相手の電話番号は、通知許可番号で設定します（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」同ページ参照）。
- 自動位置情報送出手を設定すると、待受画面に「」が表示されます。L1機能が「OFF」に設定されているときは、「」は表示されません。

■ 位置情報が通知されたときの着信音を設定する

機能番号622

自動位置情報送出手で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

自動位置情報送出手設定画面で

2 「着信音設定」 ▶ 「ON」を選択し、 【選択】

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを登録する

機能番号623

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。電話番号は5件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お買い上げ時：
通知許可番号：「未登録」
通知許可パスワード：
「未登録」

自動位置情報送出手設定画面で

1 3 「通知許可番号」 ▶ 登録する番号を選択 ▶ (F2) [メニュー] ▶ 「登録」を選択し、 【選択】

2 1 「通知許可番号」を入力し、 ▶ 2 「通知許可パスワード」を入力 ▶ (F1) 【登録】

お知らせ

- 入力できる通知許可番号は20桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。

通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除します。

自動位置情報送出設定画面で

3.0③ 「通知許可番号」 ▶ 編集または消去する番号を選択 ▶ ○ (F2) 【メニュー】

以下の項目から選択します。

編集	▶ 編集する番号を選択し、編集 ▶ ○ (F1) 【登録】 登録済みの通知許可番号と通知許可パスワードを編集します。
1件削除	▶ 「はい」を選択し、●【選択】 通知許可番号と通知許可パスワードを1件削除します。
全件削除	▶ 「はい」を選択し、●【選択】 通知許可番号と通知許可パスワードをすべて削除します。

位置情報を通知する

LI機能を「ON」に設定すると、必要なときに任意の電話番号（位置表示用ディスプレイなどの周辺機器）に位置情報を通知することができます。

待受画面で

⌂を長く（約1秒以上）押し、発信画面に「♥」を表示させる ▶ 電話番号を入力する ▶ ⌂

お知らせ

- 電話番号は、発信履歴（87ページ）、着信履歴（88ページ）、アドレス帳（125ページ）からも呼び出すことができます。
- 位置情報を通知または送出するときは、分計発信（280ページ）を使用できます。

相手から位置情報送出の要求があったとき

LI機能および自動位置情報送出を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している通知許可番号から位置情報送出の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お知らせ

- WX300Kの操作中に位置情報送出の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出が終了すると、待受画面に戻ります。

所在位置を登録する

LI機能および自動位置情報送出機能を「ON」に設定すると、WX300Kの所在位置を登録することができます。位置情報送出の要求があったときは、登録した情報が送られます。また、位置情報と一緒に、そのときの状態を「ステータスコード」を使って登録することもできます。詳しくは、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

所在位置のみ登録する

待受画面で

1 ①を長く（約1秒以上）押す

位置情報送信画面が表示されます。

2 ⌂を押す

位置情報動作中画面が表示されます。送信が終了すると、送信終了画面に切り替わり、待受画面に戻ります。

■ 所在位置とステータスコードを登録する

待受画面で

☎ ▶ ステータスコードを入力する ▶ ☎ ▶ ⏪

📢。ご注意

- ステータスコードを登録する際は、184発信、186発信、分計発信は使用できません。

📢。お知らせ

- ステータスコードは「1」～「20」の範囲で入力してください。ステータスコードの詳細については位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。
- 位置情報サービスについては下記までお問い合わせください。
ロケーション株式会社
電話 0120-180313 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日祝日、ロケーション株式会社の休日を除く)
URL <http://www.tli-net.jp/>

● 国際ローミングを利用する (お申し込み必要) (国際ローミング) 機能番号64

ウィルコムに、別途国際ローミング契約をお申し込みになると、WX300Kが台湾とタイでも使えるようになります。
台湾とタイでご使用になる場合には、WX300Kをローミングモードに切り替える必要があります。詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ローミングモードに切り替える 機能番号641

ローミングモードで使用するには、ローミングモードへ切り替える必要があります。

待受画面で

☎ ▶ 【メニュー】 ▶ 「機能」を選択し、☎ ▶ 【選択】 ▶ 6.ロー ▶ 4.ロー ▶ 1.ロー

以下の項目から選択します。

日本/ウィルコム
台湾/大眾電信 (FITEL)
タイ/true

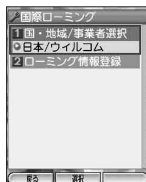
📢。ご注意

- 台湾またはタイでのご使用後、日本に帰国した際は、必ずローミングモードを「日本/ウィルコム」に切り替えてください。

📢。お知らせ


- ローミングモードを「台湾/大眾電信 (FITEL)」または「タイ/true」に切り替えると、メインディスプレイに「RM」が表示されます。
- ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
 - ・安全運転モードのネットワーク応答、ネットワーク応答+音声メモの切り替え
 - ・発信者番号付加機能 (184, 186)
 - ・分計発信
 - ・ライトメール
 - ・Eメール自動受信
 - ・LI設定
 - ・通信中着信
- ローミングモード時は、時差情報によりWX300Kの時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。

お買い上げ時：
「日本/ウィルコム」



● 国際ローミングを利用する (お申し込み必要) (国際ローミング) 現在の位置情報を知りたい

ローミングモードで電話をかける

ローミングモードで電話をかけるには、直接相手の電話番号を入力し、を押します。
ローミング国・地域から日本など他の国や地域に電話をかけるときには、国際プリフィックス番号の入力が必要となります。

ローミングモードで電話を受ける

ローミングモードで電話を受けるには、ローミング電話番号、ウィルコム電話番号のどちらでも電話を受けることができます。ただし、ウィルコムの電話番号で電話を受けるには、ウィルコムへのお申し込みが必要となります。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードのご利用時に、日本など他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。WX300Kでは、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

例：日本の「070-1234-x x x x」という番号に電話をかける場合

待受画面で

1  

選択した国や割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2  

日本の国番号を入力します。

3         

相手の電話番号から、先頭の「0」を除いた番号（ここでは「701234 x x x x」）を入力します。

4 を押す














● 発信履歴、着信履歴、またはアドレス帳に登録されている電話番号に国際プリフィックス番号を付加して電話をかけるには、以下の手順を行います。

■ 発信履歴／着信履歴の電話番号に付加する場合

待受画面で （発信履歴）または （着信履歴）  (F2)【メニュー】  「ダイヤル編集」を選択し、
 【選択】  で表示されている電話番号の頭

にカーソルを合わせる    

■ アドレス帳に登録されている電話番号に付加する場合

待受画面で  (F1)【アドレス帳】  アドレス帳を選択し、 【表示】  電話番号を選択  (F2)【メニュー】  「ダイヤル編集」を選択し、 【選択】  で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる   

ローミング情報を登録する

機能番号642

ローミング情報の登録は、手入力による登録と、ローミングメール登録の2通りがあります。ここでは、手入力による登録方法を説明します。

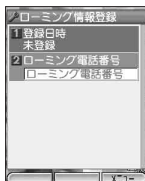
待受画面で

1 【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、 【選択】 ▶ 6分 ▶ 4分 ▶ 2分

■台湾の場合

2 1番 【台湾/大衆電信 (FITEL)】 ▶ 2番 【ローミング電話番号】 ▶
ローミング電話番号を入力後、 (F1) 【登録】

ローミング情報登録画面 (台湾の場合)



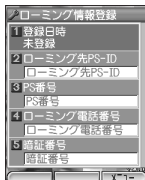
■タイの場合

2 2番 【タイ/true】を押す

以下の項目から選択し、必要な項目を登録/編集します。

1番 登録日時	ローミング情報が登録された日時を表示します。
2番 ローミング先PS-ID	▶ ローミング先PS-IDを入力する
3番 PS番号	▶ PS番号を入力する
4番 ローミング電話番号	▶ ローミング電話番号を入力する 入力できる桁数は32桁までです。
5番 暗証番号	▶ 暗証番号を入力する 入力できる桁数は2桁までです。

ローミング情報登録画面 (タイの場合)



3 (F1) 【登録】を押す

お知らせ

- ローミングメール登録とは、お客様がウィルコムサービスセンターで国際ローミングのお申し込みをされた後、約1時間程でライトメールにて通知され、自動的にWX300Kに登録される方法です。
- ローミング情報をリセットした場合は、以下の手順で登録し直します。

■タイの場合

ローミングメールで通知された内容を確認 ▶ 【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、 【選択】 ▶ 6分 ▶ 4分 ▶ 2分 【タイ/true】 ▶ 「はい」を選択し、 【選択】 ▶ ローミング情報 (SO情報) に確認内容を元に入力をする ▶ (F1) 【登録】

- ローミング電話番号を登録すると、登録した電話番号を「電話番号表示」(「プロフィールを確認する」259ページ)で確認することができます。

ローミング情報をリセットする

選択した国のローミング情報をすべて消去します。

待受画面で

【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、 【選択】 ▶ 6分 ▶ 4分 ▶ 2分 ▶ 1番 【台湾/大衆電信 (FITEL)】
または 2番 【タイ/true】にカーソルを合わせる ▶ (F2) 【メニュー】 ▶ 【リセット】を選択し、 【選択】
▶ 「はい」を選択し、 【選択】

● データ通信の使いかた

データ通信の準備をする.....	272
データ通信に必要なもの.....	272
データ通信方式を設定する.....	272
64kPIAFSの通信方式を設定する（データ通信方式）（機能番号63）.....	274
WX300Kとパソコンを接続する.....	274
発信する.....	275
着信する.....	276



● データ通信の準備をする

データ通信に必要なもの

- ・ USBケーブル
- ・ ノートパソコンなど各種情報端末（USB端子を備えているもの）
- ・ 通信ソフト

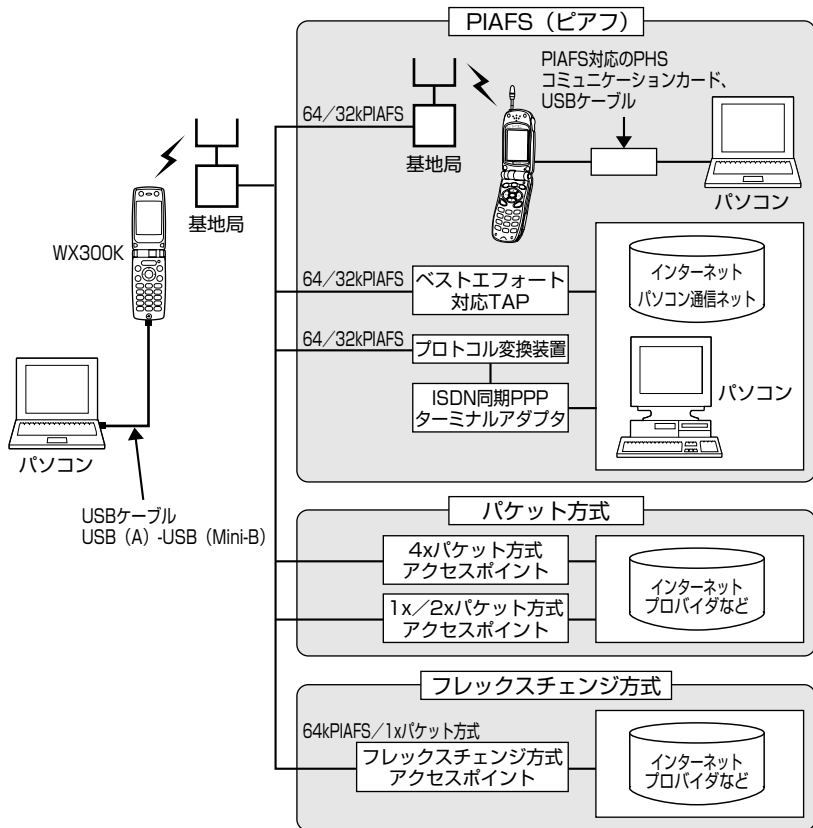
データ通信方式を設定する

WX300Kで利用できるデータ通信方式は、以下の方式があります。

通信方式	説明		付加番号
64kPIAFS	ベストエフォート方式	ウィルコムが提供する、最大通信速度64kbpsのデータ通信方式です。基地局の利用状況など、通信環境に対応して64/32kbpsの通信速度を選択し、切れにくい通信環境を実現します。	##4
	ギャランティ方式	64kbps固定でのデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できない場合は切断します。	
32kPIAFS	PHSの通信標準規格で最大通信速度32kbpsの通信方式です。		##3
2x/4x パケット方式	ウィルコムが提供しているパケット通信方式です。情報をパケットに分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。		##64
1xパケット方式	ご利用になるには、ウィルコムの1x/2x/4xパケット方式の料金コースにご契約いただき、アクセスポイントに接続してください。		##61
フレックス チェンジ方式	ウィルコムが提供する、1xパケット方式と64kPIAFS（ベストエフォート方式）の通信方式を、送受信されるデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。安定した速度を得ることができるため、より快適にデータ通信をご利用できます。ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。		##7

● ご注意

- パケット方式を使用する場合は、発信者番号通知（89ページ）を「ON」に設定してください。
- パソコンへのメールソフトの設定、ダイヤルアップの設定につきましては、各プロバイダにお問い合わせください。
- PIAFS方式で使用する場合でも、プロバイダによっては発信者番号通知（89ページ）を「ON」に設定する必要があります。
- ダイヤルアップ用の電話番号の後に、必ずご利用の通信方式に合わせた付加番号を入力してください。



データ通信の準備をする

お知らせ

- PIAFSとは、PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSでデータ通信を行う場合の標準規格です。
- bpsとは、Bits Per Secondの略で、データ通信で送る情報量の単位です。1秒間に何ビットのデータを送ることができるかを示します。
- 無線FAX、無線モデム、無線インターネットには対応していません。

データ通信に関してのお問い合わせ窓口

ウィルコムサービスセンター

- ウィルコムの電話から 局番なしの157 (無料)
- 一般加入電話/公衆電話から 0120-921-157 (無料)
※携帯電話・PHSからもかけられます。

受付時間：9：00～21：00 (日・祝日も受付)

(2005年9月現在)

64kPIAFSの通信方式を設定する（データ通信方式）

機能番号63

64kPIAFS通信の方式を、「ベストエフォート型」と「ギャランティ型」から選択することができます。

お買い上げ時：
「ベストエフォート型」

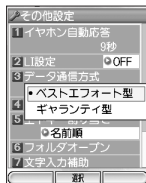
待受画面で

●【メニュー】▶「機能」を選択し、●【選択】▶6.は ●3.を

「ベストエフォート型」または「ギャランティ型」を選択し、●【OK】

お知らせ

- ウィルコムと契約をされている場合は、「ベストエフォート型」に設定してください。
- ウィルコム以外の事業者と契約をされている場合は、各事業者の通信方式を確認してください。

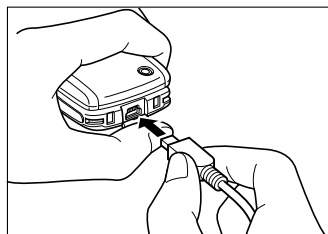
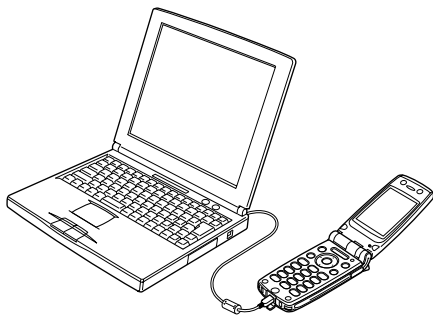
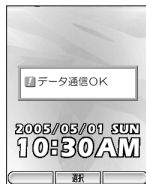


● WX300Kとパソコンを接続する

USBケーブルを使って、パソコンとWX300Kを接続することができます。

- 1 パソコンと接続する前に、あらかじめ付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールしておいてください
- 2 パソコンを起動する ▶ USBケーブルの幅広コネクタの向きをよく確認し、パソコンのUSBポートに接続する
- 3 WX300K本体のUSB端子カバーをはずし、USBケーブルのMini-BコネクタをUSB端子にまっすぐ差し込む

接続が完了し、データ通信が可能な状態になったときは「ビポ」という確認音が鳴り（着信音が設定されているとき）、WX300Kのディスプレイには「データ通信OK」と表示されます。ただし、パソコン側で低消費電流設定をしていると、接続しても「データ通信OK」と表示されないことがあります。



USB端子のカバーを押さえて、USBケーブルを差し込んでください。

お知らせ





- USBケーブルを取りはずすときは、接続と逆の順序で行ってください。
- ご使用になるパソコンなどの詳しい設定や操作については、パソコンなどに付属の取扱説明書をお読みください。
- WX300Kを充電器に置いて充電しながらデータ通信を行うと、バッテリーの消費を節約することができます。
- 同梱品以外のUSBケーブルを使用される場合は、USB1.1以上の認定品をご使用ください。USBケーブルの最大電流は、470mAです。

● 発信する

待受画面で

WX300KとUSBケーブルで接続したパソコンなどで、データ通信の発信操作を行う

- ・ WX300Kのディスプレイに通信方式の種別がアイコン文字で表示されます。表示されるアイコンは以下のとおりです。


	64kPIAFS (ベストエフォート型)
	64kPIAFS (ギャランティ型)
	32kPIAFS
	パケット方式
	フレックスチェンジ方式

- ・ アクセスポイントに接続すると、WX300Kのディスプレイに通信時間が表示されます。データ通信を終了するには、パソコンからデータ通信を切断します。

● ご注意

- 以下の状態でのご利用は通信切断の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・ 電波状態が悪い場所でのご利用
 - ・ 移動しながらのご利用
- ダイヤルロックが設定されているときは、データ通信を利用することはできません（「ダイヤルロックを設定/解除する」242ページ）。
- データ通信中は音声通話することができません。

● お知らせ

- を押しても、データ通信を切断することができます。
- 確実にデータ通信を行うため、データ通信を始める前にWX300Kのバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- 分計発信をするときは、電話番号の最後に「.01」を入力します（「料金分計サービスについて」280ページ）。例：「03-△△△△-△△△△##4.01」
なお、データ通信での分計発信は、PIAFSのみ対応となります。
- データ通信をしたときの電話番号は、発信履歴には記憶されません。
- データ通信中にWX300Kをクローズしてもデータ通信は切断されません。
- 通信設定やデータ通信の発信操作は、使用する通信ソフトにより異なります。詳しくは通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
- データ通信の通信速度は、接続する機器や通信状況によって変わることがあります。
- 通信速度が遅いと感じるとき
 - ・ 電波や回線の状態が悪いことがあります。
 - ・ パソコンの通信設定が遅い場合があります。パソコンの設定を確認してください。
 - ・ メインディスプレイに「64kPIAFS BE」、「64kPIAFS GR」、「32kPIAFS」、「パケット」と表示されていても、相手のデータ通信速度が遅い場合、実際の通信速度は遅くなります。

● 着信する

データ通信中に


パソコンで着信の操作を行う

- ・ WX300Kのディスプレイに「データ着信」と表示されます。
データ通信を終了するときは、パソコンからデータ通信を切断します。


● ご注意

- を押すか、またはUSBケーブルを接続しパソコンで着信の操作を行うまで、着信音は鳴り続けます。を押して応答することはできません。

● お知らせ

- を押しても、データ通信を切断することができます。
- アドレス帳に登録されている電話番号から着信があったときは、登録名と着信番号が表示されます。ただし、以下の場合は、アドレス帳に登録されている電話番号から着信があった場合でも、登録名は表示されず、着信番号のみが表示されます。
 - ・ アドレス帳制限が「ON」に設定されているとき（「使用制限を設定／解除する」242ページ）
 - ・ 着信した電話番号がシークレット登録されているとき（「シークレットモードについて」245ページ）
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしているときや、公衆電話からの発信のときなどは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話	公衆電話からかけている

- データ通信の着信はデータ通信の発信とは異なり、ダイヤルロックが設定されていても、着信することができます。
- USBケーブルなどの接続ができていない状態でデータ通信を着信したときは、着信中にデータ通信の接続を完了すると、通常どおり受信することができます。を押すと着信を拒否することができます。
- データ通信を着信したときの電話番号は、着信履歴に記憶されます。